

ミスター長島に絶叫

第36回青梅マラソン大会は、長島前巨人監督のスターターという、1万3千人が参加した30キロの部で、大いに盛り上がりながら開始された。長島さんを一目見ようという熱狂的なファンでスタート地点はごった返し。1万3千人がスタート地点を通り過ぎるまで10分以上、長島前監督はその間ずっと手を振って選手を激励し続けた。



スタート地点は青梅市役所前、またマルコン電子の親企業である日本ケミコンの本社がすぐ近くにあって、レース観戦するにも絶好の場所、目黒市長・鈴木議長・大道寺議員・中田秘書がケミコン役員や市役所関係者とともに応援した。



第36回青梅マラソン大会記録速報

《30キロの部》

鈴木	友幸	19歳	215	記録	1時間49分13秒	総合	80位
佐藤	貴弘	19歳	158		1時間56分38秒	総合	179位
竹田	雅量	42歳	2475		2時間22分33秒	総合	1534位
がもう	光男	56歳	1020		2時間27分06秒	総合	1963位
伊藤	敏昭	32歳	1330		2時間35分23秒	総合	2873位
那須	宗一	49歳	5606		2時間39分59秒	総合	3398位
鈴木	栄一	65歳	7457		3時間22分49秒	総合	7547位

《10キロの部》

高橋	恒雄	57歳	5249	55分45秒	50歳代	353位
青木	悦巳		6524	52分44秒	60歳代	172位
浅田	竹紫	60歳	6181	57分39秒	60歳代	353位

《レース概況》

- 天候 くもり・気温 10 度・湿度 48%・南東の風 0.7 メートル＝正午現在
- 選手エントリー数 10 キロの部 30 キロの部あわせて、13,438 人・完走 11,658 人
- 30 キロ男子優勝タイム 森 勇気（22 歳）1 時間 31 分 28 秒
女子優勝タイム 小松ゆかり（28 歳）1 時間 45 分 16 秒
- 沿道の観衆 昨年は高橋尚子が出場し、7 万 8 千人がスタート地点を始め沿道に詰め掛けた。今年は、昨年に及ばないものの、5 万人が選手を激励した。長島さんがスターターを務める地点には 2 万人が詰めかけ、身動きが取れない状況であった。



30 キロで 2 位に入ったワンジロ選手
シドニー五輪女子マラソン 4 位のケニア
代表のエスタワンジロ。資生堂所属



今年初参加、青木悦巳さん
長井走ろう会からも毎年参加している。
定年後は好きなジョキングも酒も・・・



鈴木友幸選手

鈴木友幸選手（19 歳）
ニクニ所属
昨年初参加で、2 時間
を切ってフィニッシュ。
今年は、**1 時間 49 分
13 秒で総合 80 位。**
若きエースである。



佐藤貴弘選手

佐藤貴弘選手も 19 歳、朝日ニクニ所属、今年初参加
1 時間 56 分 38 秒 総合 179 位
二人とも、山形県縦断駅伝競走大会の主要メンバー



今年は鈴木議長も参加、目黒市長は2回目の訪問 平成14年2月17日ケミコン前

日本ケミコン前にて、スタート前の記念写真、うす曇で少し肌寒い。走ればちょうどいいとか強がりを行っているが、昨日の夜のカラオケははしゃぎすぎ。それに練習不足が加わっているのだから絶不調である。

しかし、走り出せば何とかなる。いつも今までもこうやって何とかになっていた。



30キロの部スタート
お昼12:00スタート、トップ集団



走ろう会事務局長浅田さん

人気歌手長淵剛の奥さんである、元女優の志穂美悦子さんも走った。記録によれば、志穂美さんは46歳、完走は出来なかったが、25キロ地点まで走った。一緒に走った人は幸運としか言いようがない。この際タイムは関係なくなるだろう。



今年のレースナンバーは1020番、実力以上の番号である。

スタート地点まで、35秒かかった。かつて4000番台のときは、4分以上も要したことを考えるとすぐスタート地点まで来たという感じであった。

日本ケミコン女子陸上部の主力選手
今年も10キロの部で圧倒的な強さを見せた。

今年の4月から、長井市の出身の選手が入部する。小杉さんである。



午後4時から、ケミコン社屋4階の食堂で、傘下各社の選手団応援隊との合同の懇親会が盛大に開かれた。

ケミコンの皆様には感謝、この瞬間を楽しみに参加する選手も多い。

